昭和59年　第917号
9月23日

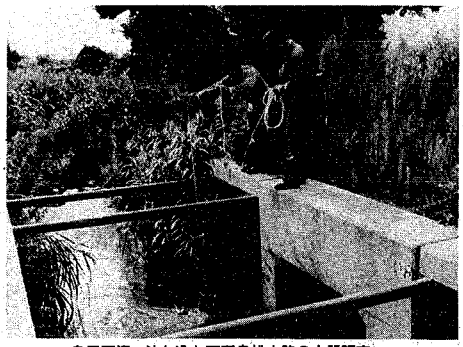
市報 にいがた

市の人口
前月比
人口 463,378(+338)
男 226,857(+212)
女 236,521(+126)
世帯数 150,628(+149)
59年8月末現在

発行日 毎週日曜日
発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話 (28)1000
編集 企画部広報課
印刷所 ㈱第一印刷所

鳥屋野潟浄化
16%が粉せっけんを使用
住民意識調査の結果まとまる

汚濁が進む鳥屋野潟浄化のための基礎資料にしようと、鳥屋野潟周辺に住む主婦を対象に実施した住民意識調査の結果が十日までまとまりました。それによると、市民の八五%が「ごみや水のにごりで汚れている」と感じ、五六%が「家庭排水やごみが汚れの原因」と思っていることがわかりました。鳥屋野潟浄化を求める声が市民の間に高まっている今、市では、この調査結果を基に、鳥屋野潟の汚れを打開する方策について検討していきます。


鳥屋野潟へ流れ込む下所島排水路の水質調査

調査は七月十一日から同二十四日にかけて行い、鳥屋野潟周辺の鳥屋野、曽野木・山潟、竹尾・石山、大江山地区に住む世帯員二人以上の世帯の主に主婦千人を対象に、九百五十二人が回答しました。

調査項目は潟の利用状況や、使用済み食用油の処理の仕方、洗濯用洗剤の使用状況など計二十二項目。

この調査は、主に家庭排水について流域住民の意見を聞き、鳥屋野潟の浄化対策を効果的に進めるために実施したものです。

鳥屋野潟の印象について、「大変汚れている」が五六・九%、「汚れている」が二八・二%、合計で八五・一%が汚れを感じています。汚れを感じる理由（複数回答）には「ごみがある」と「水が濁っている」を挙げた人が八割を超えています。汚れの原因は、五六・三%の人が「一般家庭からの排水やごみ」と答えています。

九七・〇%の人が流し台からはき出される食べ物カスを直接流さないよう心がけています。使用済みの食用油の処理も「紙などに含ませたり、薬剤で固めてごみとして出す」が四八・八%、水と一緒に流す人は八・二%でした。

合成洗剤は八割強

洗濯用洗剤の使用状況は、無リン合成洗剤の使用が八〇・九%を占め、有リン合成洗剤は一・七%、粉せっけんの使用は一・六・〇%でした。合成洗剤と粉せっけんの見分けのつかない人が六三・七%、有リン合成洗剤が潟の富栄養化の原因になっていることについて知っている人は六一・六%でした。

家庭排水に対し何らかの簡易処理が求められた場合、個人負担でも「応じられる」が五五・四%、自己負担額が二万円以下なら九四・九%の人が応じられると答えました。

神道寺排水路に簡易浄化装置

鳥屋野潟の水質汚濁は、国が定める環境基準の約二倍で、五十五、五十六年度は全国の湖沼中ワースト3、五十七年度は幾分改善されましたが、ワースト8という状況です。

市の試算では、鳥屋野潟に流入する汚濁物の約八割が一般家庭からの排水であるという結果になっています。

きれいにするための抜本的対策としては、公共下水道の整備しかありませんが、膨大な費用と相当の年月が必要になります。

しかし、このまま下水道が整備されるまで放置したのでは、鳥屋野潟の汚濁はますます進行してしまいます。

県・市では、今までも潟のヘドロ除去や冬期間、信濃川の水を導入し浄化を図ってきました。今年五月、国、県、本市を含む「行政連絡会議」が発足、浄化に向けて各々役割りに応じた対策を総合的、計画的に進めるために協議しています。

市では、最も汚れがひどい神道寺排水路に、試験的に簡易浄化装置を設けます。十一月から工事を始める予定です。

装置が動き出し、浄化に相当の効果があれば、ほかの排水路にも取り付けていきます。浄化の切り札「公共下水道」は、県道・和合線に下水管を敷設する工事などがすすめられています。新潟県庁周辺では、来年四月から下水処理が開始され、着々と処理区域拡大のために整備がすすめられています。

防犯灯の補助申請は9月29日までに

市では、自治・町内会、連合自治会が管理している防犯灯の電気料金に対し、一灯当たり年額千百円を補助します。

申請方法 東北電力発行の八月分電気料金領収書または金融機関などの口座振替済通知書（写しでも可）が必要です。

申請先 九月二十九日までに、生活課、各地区事務所・連絡所へ

防犯灯設置費補助金の交付決定を受けて設置工事を完了した自治・町内会などは、至急、実績報告書を提出して下さい。

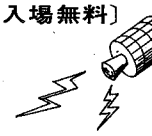
来年7月 ハルピンで友好展

市とハルピン市の友好と経済文化の発展・交流を促進するため、来年七月にハルピン市で開かれる「新潟友好展覧会」のハルピン市準備代表団が、八日から十三日まで新潟市を訪れ、食品、日用雑貨、軽工業製品などの産品サンプルの買い付けや同展覧会の事前協議を行いました。

同展覧会は、来年七月十五日から同三十一日までハルピン市の友誼宮で開催されるもので、①友好②産品サンプルの展示が行われます。

明日24日開催
"新潟テレトピアシンポジウム"
「高度情報社会と市民生活」

〔入場無料〕



会場：音楽文化会館
時間：午後1時～4時半

通信衛星やコンピューターなどの発達により、私たちは高度情報社会を迎えようとしています。私たちの生活がどう変化していくか、それにどう対応すれば良いのか一緒に考えていただくため、県と市でシンポジウムを明日開催します。ニューメディアと市民生活に焦点を当てたユニークな催しです。皆さんこぞってご来場下さい。

※講演会
「21世紀の社会と暮らし」（テレトピアと未来社会）
講師 今野由梨氏（生活科学研究所長、昭和三十四年津田塾大学英文科卒、赤ちゃん110番、子供110番などの電話情報サービスを提供、日本で最初の女性シンクタンクである「生活科学研究所」経営、郵政省、電電公社の委員など務める）

※パネルディスカッション
コーディネーター 吉田恭（新潟日報専務）
パネリスト 今野由梨（講師）村田実（電電公社次長）小嶋弘一（青年会議所専務理事）渡辺慶子（新大助教授）山本幸子（消費者協会理事）大川進（県企画調整部長）鈴木宏（市企画部長）（敬称略）

私の散歩道 ⑤⓪
鳥屋野潟

わが家から散歩に手ごろな鳥屋野潟。その道々は、野草がとてもきれいな所でした。

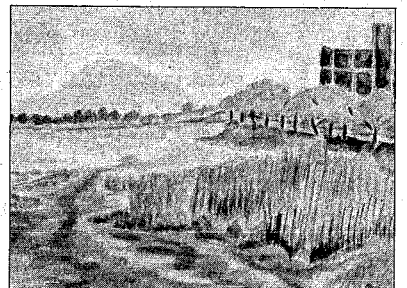
でも、このごろは田も畑も家また家と、すっかり変わってしまいました。

名も知らない、かわいい道草の芽吹く早春から緑もえいずる初夏、このころが私の気に入りの鳥屋野潟です。

水面に水草が、そして水鳥の水紋が、遠くの弥彦山を水鏡にゆらします。

春の桜が、いっそう鳥屋野潟をひき立ててくれます。

五十嵐 フジエ（70歳、長嶺町）



読者の皆さんへ 「ニューメディア・一口メモ」「民生委員を紹介」を休みます。

やさしさを行動に
障害者大運動会
市民の皆さんどなたでもお気軽に参加を！
日時 9月30日午前10時～
場所 総合運技場（雨天のときは市体育館）

在新潟外国人による 日本語スピーチ・コンテスト（入場無料）

日時 九月二十九日午後二時～四時半
会場 新潟国際友好会館（上大川前通六）
テーマ 「ワタシの街こんな街、あなたの街こんな街」
問い合わせ 新潟青年会議所（☎29―〇八七四）へ

動く市政教室参加者募集（無料）
進む大規模プロジェクト

日時 9月28日午前9時20分市役所中庭へ集合
コース 美術館～千歳大橋～園芸センター～駅南ビル～新田焼却場
定員 45人（応募者多数の時は抽選、抽選結果は26日に電話で通知）
持参品 昼食 ※軽装で参加下さい。
申し込み 9月25日午前8時半～午後5時までの間に電話で市民相談室へ

電話加入権の公売

日時 9月26日午前10時～
場所 納税課（市役所4階）
その他 買受代金は午後1時までに現金で納付。電話局で行う権利移転手続きのときは住民票と印鑑が必要です。
問い合わせ 納税課（内線322）へ

電話案内

市役所	28―1000
教育委員会	25―1000
体育課	67―1821
野球場・テニスコートの申し込み	66―8111
火災の場所を知りたいとき	24―1111
市民病院	41―5151
園芸センター	86―1034
東保健所	43―5311
石山地区保健センター	86―4450
鳥屋野地区保健センター	85―2373
北地区保健センター	59―7332
西保健所	66―5171
西地区保健センター	62―3405
坂井輪地区保健センター	60―3255
市医師会休日急患診療センター	31―4135
県歯科医師会休日歯科診療センター	83―3030